

垂井町 学校支援だより



垂井町教育委員会 生涯学習課



令和2年度より垂井町のすべての小中学校がコミュニティ・スクールになり、学校支援ボランティアに登録していただいている方は、実に791名（令和6年12月31日現在）みえます。

学校の授業がある日にされる「登下校の見守り」や「中学校の部活動の指導」のそれぞれ支援内容を1種類とすると、1年間で学校支援ボランティア活動は100種類にも及びます。学校と地域との連携が、より密になってきていると思います。授業によっては、何年も続いているものもあります。児童生徒たちの感想に、「地域の方に教えてもらって嬉しい。」とか「楽しい。」という感想が多くあります。地域の方々の温かさや自分たちへの思いや願いを、そして、地域の歴史や伝統・文化を学び、地域の良さを体感していることの現われだと思ひます。コミュニティ・スクールの目的の一つである「町を愛し、町に貢献できる人間の育成」に向けての着実な歩みではないかと思ひます。

各 学 校 の 活 動 の 紹 介

垂井小学校

20年近く続いている3年生の「中山道・垂井宿見学」が、10月29日（火）の午前中をかけて行われました。「垂井町街角案内の会」の9名の方が、講師を務められました。

児童たちは、やさしく丁寧な説明を聞きながら、楽しく見学をしました。

講師の皆さんも、児童と接して、楽しい一時を過ごされ、「自分にとっても大変勉強になる。こういった授業の協力は、おおいにしたい。」と言われました。

（総合的な学習の時間）
中山道・垂井宿見学



（西の見附）



（垂井城跡）



（垂井の泉）

宮代小学校

9月27日（金）の6年生の総合的な学習の時間に、宮代太鼓踊り保存会の方に、宮代太鼓踊りを教えていただきました。夏祭りや秋祭りで披露する児童は、夏休み中にも10回ほど教えてもらいました。

児童たちは、「地域の伝統が学べて楽しい。」
「できるようになって

（保存会の皆さん）くると楽しい。」と言っていました。保存会の方は、「子どもたちが一生懸命で、上手になってくると嬉しい。」と言っていました。

（総合的な学習の時間）
宮代太鼓踊り



表佐小学校

（総合的な学習の時間と社会科の授業）
米づくり稲刈り体験

10月17日（木）にJAにしの不破営農経済センターさんと農事組合法人「表佐アグリ」の皆さんのご指導のもと、鎌を使った稲刈りだけでなく、昔の脱穀方法（千歯こきなど）の貴重な体験もさせていただきました。また、大型コンバインによる刈り取りの様子も見学しました。児童たちは、実際に稲刈りをしてみて、昔の米づくりの大変さがよく分かりました。そして、この体験ができたことに感謝していました。



（千歯こきで脱穀）

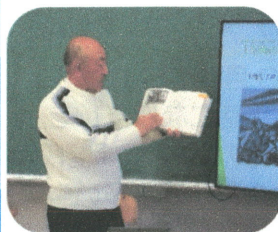


（初めて鎌を使つての稲刈り）

合原小学校

11月15日（金）に、古川英治さんを講師にお招きして、6年生が「栗原歴史教室」の授業を受けました。

児童達は、「初めて知ることばかりであった。」「ちょっと難しかったけど、知ることができて良かった。」と言っていました。



（本に載った切り絵の紹介）



（古地図を見る）

（社会科の授業）
栗原の歴史教室

古川さんは、児童が栗原の歴史を学ぶ中で、「栗原に生まれて良かった。」「栗原に住んでいて良かった。」と思える何かを見つけてくれることを願っていました。

府中小学校

11月11日(月)に衣斐正道さんのご指導のもと、自分たちが3年生の時に植菌したシイタケの収穫を行いました。

児童たちは、自分たちが3年生の時に植菌したシイタケの菌を大切に育てていただいていたことに感謝すると共に、原木をたたいたり、水につけたりしながら育てることを知って驚いていました。収穫したシイタケはいろいろな食べ方をしたいと言っていました。

(総合的な学習の時間)
シイタケの収穫



(収穫前の説明)



(シイタケの収穫!)

東小学校

11月19日(火)に、1年生と支援学級の生活科の授業で永澤朝行さんのご指導のもと6月に苗植えしたサツマイモの収穫をしました(永澤朝行さん)した。永澤さんが、地中のサツマイモの様子モデルを作って、分かりやすく説明してください、児童たちは、一生懸命に取り組みました。

土の中からイモが顔を出すと歓声があがりました。児童たちは、「少し寒かったけど、イモが採れて楽しかった。」「大きいイモが採れて、嬉しかった。」と言っていました。

さつまいもの収穫



(永澤朝行さん)



(協力してサツマイモを掘ろう)



(大きいでしょう)

北中学校

10月17日(木)に、2年生が町内の27の事業所にお世話になりました。

生徒の感想は、「普段使用している製品は、細かい作業や立ち仕事が多い中で作られていると知った。」「お客様のニーズに合わせていろいろな工夫がされていることがよく分かった。」等、貴重な体験ができてよかったという気持ちを伝えるものでした。事業所の方からは、「礼儀正しく、誠実に仕事をする姿があり、大変好感がもてた。」という褒めの言葉をいただきました。

職場体験



(ファーマーズ・マーケット)

岩手小学校

10月15日(火)の1時間目に、講師に岩田きよみさん、指導補助として「岩手半兵衛音頭振興会」の吉田容子さん、富田八重子さん、溝口エミ子さんを招いて、1・2・3年生が合同で「いわで半兵衛音頭」の練習をしました。児童たちは、岩田さんの話をしっかりと聞いて、一生懸命に取り組み、ほめられて嬉しそうでした。先生方は、このような授業を通して、地域の伝統文化が伝承され、担い手が育つことを願っていると話されました。

(音楽科と総合的な学習の時間)
いわで半兵衛音頭



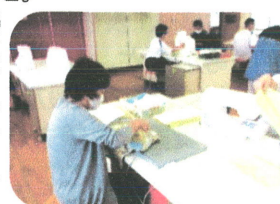
不破中学校

民生委員児童委員の皆さんは、特別支援学級の「不破ぞうきんづくり」に協力し、これまでタオルの寄付をしてみえました。今年度は、支援学級の生徒との交流をさらに深めるために、「不破ぞうきんづくり」の授業で、作業支援にも取り組まれました。10月10日、15日、16日の午前と午後の計6回の授業で、10名の方が自分の協力できる時に参加されました。授業の始めに、特別支援主任から「不破ぞうきんづくり」の趣旨や目的の説明をプレゼンで聞いて、作業に取り組みました。

参加された方は、「あつという間に時間が過ぎました。」「学校の願いに応じて活動できてよかったです。」と言われました。生徒たちは、「民生委員さんにほめられてうれしかったです。」と言っていました。

不破ぞうきんづくり

(「不破」のネーム貼りの補助)



(最終チェックの補助)



(ナブテスコ)